

三島工業団地ニュース

No.1 令和8年4月1日

Vol.48 三島工業団地協同組合

日銀静岡支店発表の静岡県金融経済動向

令和8年3月13日発表の県内金融経済の動向は次の通りですので参考にしてください。

(2026年3月)

(経済面)

県内の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は高水準で推移している。設備投資は増加している。個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、底堅く推移している。輸出は持ち直している。住宅投資は減少している。

こうしたもとで、企業の生産は、横ばい圏内の動きとなっている。

雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

(金融面等)

預金は、前年を上回っている。

貸出は、前年を上回っている。

貸出約定平均金利（総合・ストックベース、地銀・第二地銀）は、前月比上昇している。

企業倒産（負債総額10百万円以上）は、概ね感染症拡大前の水準となっている。

(経済面の概況)

項目	今回の評価	前回からの変化※	前回の評価
全体判断	一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。	➡ (12か月連続同評価)	一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。
需要項目の動向	個人消費	➡ (6か月連続同評価)	物価上昇などの影響がみられるものの、底堅く推移している。
	住宅投資	➡ (5か月連続同評価)	減少している。
	公共投資	➡ (82か月連続同評価)	高水準で推移している。
	設備投資	➡ (33か月連続同評価)	増加している。
	輸出	↔ (4か月ぶりの変更) (25/11月以来4か月ぶりの引き上げ)	横ばい圏内の動きとなっている。
生産の動向	横ばい圏内の動きとなっている。	➡ (22か月連続同評価)	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用・所得の動向	緩やかに改善している。	➡ (28か月連続同評価)	緩やかに改善している。

※前回からの変化 改善 ⬅ 横ばい ➡ 悪化 ⬇

(生産の概況)

項目	今回の評価	前回からの変化	前回の評価
自動車・同部品	横ばい圏内の動きとなっている。	➡ (22か月連続同評価)	横ばい圏内の動きとなっている。
二輪車・同部品	回復している。	↔ (4か月ぶりの変更) (25/11月以来4か月ぶりの引き上げ)	持ち直している。
食料品	弱めの動きとなっている。	➡ (6か月連続同評価)	弱めの動きとなっている。
はん用・生産用・業務用機械	弱めの動きとなっている。	➡ (14か月連続同評価)	弱めの動きとなっている。
化学	横ばい圏内の動きとなっている。	➡ (22か月連続同評価)	横ばい圏内の動きとなっている。
電気機械	回復している。	➡ (7か月連続同評価)	回復している。
紙・パルプ	弱めの動きとなっている。	➡ (12か月連続同評価)	弱めの動きとなっている。
楽器	弱めの動きとなっている。	➡ (14か月連続同評価)	弱めの動きとなっている。